着剤拡販

OEM提供

下田優
工毛を
専用接
先ブラ
売上高

用接着剤の製造に成功した。フラーレンは劣化抑制につながるとい、まつエクサロンでの保管にも役立つ。

OEM製品は、乾く時間などが異なるまつエク用接着剤を20種類ほど用意。静岡県にある工場で生産してい

トに混ぜし、分散まつエク

る。価格は市場での適正価格とする。

同社は13年、まつエク用接着剤による目元トラブルが多かったことをきっかけに国産の接着剤を作ろうと立ち上げた。現在もまつエク用接着剤は雑貨扱いとなっており、成分表示の義務はない。森田塁取締役は「安全な国産グルーとして普及していきたい」と話す。

「ハードディスクドんだりと用途は幅広

（名古屋編集委員・村国哲也）

伸銅品生産 1月7.3%減

協会まとめ プラスは3品種

日本伸銅協会がまとめた1月の伸銅品生産（速報値）は、前年同月比7・3%減の5万7930トンと、14カ月連続で前年の実績を下

主要品種のうち、銅条は同12・1%減の1万8446トンで12カ月連続で減少した。半導体のIC・ディスクリート分野で回復傾向が見られるが、総量回復にまで至っていない。自動車端子・コネクタ

減の7221トンで、12カ月連続のマイナス。電子部品出荷の世界的な低調で民生用コネクタ分野が低迷した。

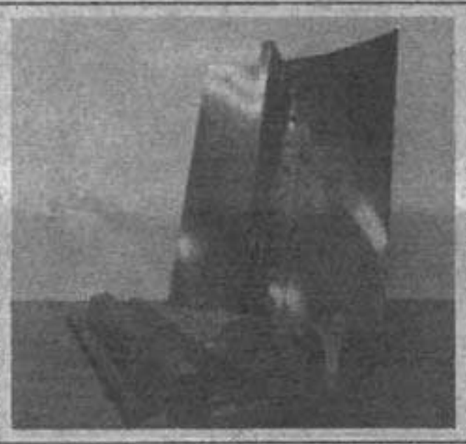
主にエアコンで使われる銅管は同0・5%増の8466トンと、6カ月ぶりの前年比プラス。消費増税後の反動からやや持ち直しの動きが見られた。

CFRP 高温・高圧成形

ティーシーエム ポリイミド利用

ティーシーエム（東京都小金井市、松岡幹人代表社員、042・316・6840）が取り組むポリイミドを使った高耐熱炭素繊維強化プラスチック（CFRP）の成形技術が注目を集めている。高温・高圧で焼き固めるオートクレーブ（AC）を使用し、これまで難しかったポリイミドと炭素繊維を組み合わせることを可能にした。

航空機やロケット、宇宙、モータースポーツ用途などで採用を働きかける。主に耐熱性が要求されるエンジン部品などでの使用を想定する。



ポリイミドを使ったCFRP成形技術

従来、CFRPの樹脂はエポキシが主流で、耐熱性は120度C程度までだったという。ポリイミドの耐熱性は300度C以上と耐熱性が高いものの成形性に課題があった。

今回、ACの制御を工夫するなどし、成形を実現した。ポリイミドへ対応できるノウハウを生かし、「高耐熱が求められるCFRP需要を取り込みたい」（松岡代表社員）考えだ。

同社は2012年12月の設立。炭素繊維複合材料製品の設計や成形が主力事業。

情報フラッシュ

◆鋳鋼品で講演会

日本鋳鍛鋼会（東京都千代田区、03・5283・1611）3月13日13時半から東京・内神田のエッサム神田ホール2号館で「鋳鋼品の製造に関する技術講演並びに研究発表会」を開く。鋳鋼品の技術・用途開発や、製造工程の改善・効率化について考察する。定員は50人。参加費は非会員の場合で1万2000円（講演会後の交流会参加費は別）。学生は無料。3月5日まで電子メールで、申し込みを受け付ける。

媛工場で日報電子化

来年末 全課導入 設備管理基盤に活用

2021
主力の愛
県新居浜
課で運転
内容、現

場での点検を記す日報を電子化する。先行して実施した部署では、操業月報の作成時間を6時間から20分程度に短縮した。従来は手書きの日報から必要事項を転記していた。全課に導入すれば大幅な業務効率化を見込める。

電子日報システムを導入し、作業指示や運転状況、フィールドでのチェック内容を入力できるようにした。このデータから操業日報や月報の作成、運転引き継ぎ、業務タスク管理などを行う。デジタル化によって、引き継ぎ時の情報標準化や、管理職以外のオペレーターも全体状況を把握できることで改善活動の推進にも役立つ。

またトラブル対応やメンテナンス内容などのデータも蓄積できる。設備の稼働データと合わせて解析するなど、高度な設備管理の情報基盤として活用できる。

20年度には、フィールド巡回時にモバイル端末で記入した内容を同システムと直接連携することも検証する。

マザー工場として競争力を高める。

タートアップ企業のコミュニティーに入り込み、バイオや素材をはじめ多様な情報を収集し、国内の研究者らと事業開発を

ップと打ち合わせをする。ある人から聞いた話を、翌日に別の人から聞くこともあり、速いスピードで物事が進む。

中嶋は09年の入社以来進める役割を担う。

6日の全社技術・研究討論会

集めた情報は、国内の研究者らが目利きし、育てる。昔は自社

しくない人が来て従来型の発想でできない」と聞る。経営層への日ではなく、生産部など多様な人と

ビタミン

▽…公認心理師は医療や保険などの分野に留まらず、産業界でも存在感が高まる。しかし「実務経験を重ねる